

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境の中で育てられる。



登米市保育基本方針

(平成 28 年 2 月策定)

1 保育理念

子どもたち、一人一人が心身ともに健やかに育つ環境づくりに努め、豊かな人間性を育成するとともに望ましい未来を創りだす力の基礎を養う。

2 保育方針

豊かな自然環境に恵まれた水の里と伝統文化の中で、養護と教育が一体となった保育を通して子どもの健やかな育ちを支え、生きる力の基礎を育む。

- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、健康な心と体を育てます。
- (2) 安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を発揮できるようにします。
- (3) 地域の人々や子ども同士のかかわりを大切にし、社会性やこころを育てます。
- (4) 家庭や地域と連携し、保護者の気持ちに寄り添いながら、子育て支援を行います。
- (5) さまざまな体験を通して、豊かな感性や表現力を培い、創造性の芽生えを育みます。



□1 設置運営主体

名 称	登米市	代表者氏名	市長 熊谷 盛廣
所在地	登米市迫町佐沼字中江二丁目 6 番地 1	電 話 番 号	0220-22-2111

□2 利用施設

(令和6年2月1日現在)

名 称	登米市迫新田保育所
所在地	登米市迫町新田字狼ノ欠28-5
電話番号	0220-28-2070 (FAX 0220-28-2070)
メールアドレス	nita-hoiku@city.tome.miyagi.jp
事業認可年月日	昭和57年4月1日
施設長氏名	所長 浅野 美保子
利用定員	30名
実施する保育事業	保育所
自己評価の概要	自己評価を実施し、職員の資質及び保育サービスの向上に努めています。
第三者評価の概要	未実施
職員研修の実施状況	職種・経験に基づき、各自の質の向上を高めるために全職員が積極的に外部研修や内部研修を受講しています。
嘱 託 医	(内科医) 八木 恒夫 (八木小児科医院) (歯科医) 松尾 雅敦 (まつお歯科医院)

□3 運営方針等

＜施設の目的＞ 児童福祉法に基づく、乳児及び幼児の保育を行う。

＜基本目標＞ 生きる力の基礎を育成するために、基本的な生活習慣や態度を養い、人との関わりや自然との触れ合いの中で多くの体験を積み重ね、心身共に健やかな子どもの育成に努める。

＜具体目標＞

* 目 指 す 子 ど も 像 *	元気でたくましい子ども	* 具 体 的 な 子 ど も の 姿 *	<ul style="list-style-type: none"> 伸び伸びと体を動かして遊ぶ子ども 元気にあいさつをする子ども 基本的な生活習慣を自分でやろうとする子ども
	仲良く助け合う子ども		<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲よく遊ぶ子ども きまりや約束を守る子ども いたわりの気持ちをもつ子ども
	情緒豊かな子ども		<ul style="list-style-type: none"> 人の話を聞き、自分の気持ちを伝えられる子ども 身近な環境に親しみ、喜んで関わる子ども 様々な遊びに取り組み、素直に表現する子ども

□4 開所日・保育を提供する時間・休所日等

開所日	月曜日から土曜日まで
保育標準時間認定の場合の利用時間帯	午前7時30分 から 午後6時30分まで (登米市で認定)
保育短時間認定の場合の利用時間帯	午前8時00分 から 午後4時00分まで (登米市で認定)
休所日	日曜・祝祭日・年末年始(12月29日から1月3日まで)
行事後に保育を行わない日	入所式・運動会・おゆうぎ会

新入所児慣らし保育 (短時間保育)	期間：４月３日から４月１０日まで（土曜日を除く６日間） ＊ ３日・ ４日・ ５日・・・１１時降所・昼食無し ＊ ８日・ ９日・１０日・・・１２時降所・昼食有り
----------------------	---

○土曜保育について

お子さんと触れ合う時間を多くもっていただきたいということから希望保育を実施しています。
希望される方は、土曜保育申込書（保育所にあります）に記入し、保育士に提出してください。

◎提出期限	・離乳食のお子さん…利用する週の月曜日の午前９時まで ・アレルギーのお子さん…利用する週の月曜日の午前９時まで ・その他のお子さん…利用する週の水曜日の午前９時まで
-------	--

□5 施設の概要

敷 地	1,000. 12㎡
建 物	鉄骨造 平屋建 (建物面積) 269. 85㎡
施設の内容	・乳児室・保育室 1室 52. 46㎡ ・保育室 2室 50㎡ ・幼児用トイレ 8基 ・遊戯室（ホール） 65. 68㎡ ・調理室 19㎡
設備の内容	・暖房 ・冷房 ・プール（屋外設備型）

□6 職員体制

（単位：人）

職 種	員 数	うち常勤	うち非常勤	うち有資格者数
所 長	1	1		保育士1
主任保育士	1	1		保育士1
保 育 士	10	3（育休1含）	7	保育士9
保 育 補 助	1		1	
栄 養 士	1（兼）	1（子育て支援課）		栄養士1
調 理 員	2	1	1（パート）	調理師1
計	16	7（育休1含）	9	13

□7 保護者の負担

保育料	保育料（利用者負担額）は登米市が決定します。（給食費が含まれています。） ・3歳以上児：無償（給食費のみ負担） ・市外の方が利用する場合：居住地の決定額 ・納付書、または口座振替で登米市へ納入（納入期限：毎月25日）	
給食費	給食費（副食費）は登米市が決定します。 ・3歳以上児…主食費：月額500円、副食費：月額4,500円 ＊年収360万円未満の世帯：副食費のみ免除 ・納付書、または口座振替で登米市へ納入（納入期限：毎月25日）	
実費徴収 負担額	年度初め	新入所児：カラー帽子 1,080円・名札 100円 新入所3歳児：上記＋クレヨン600円程度
	月毎	3歳児：絵本 400円程度
	その他	災害共済掛金（子ども1人210円） 保護者会費 3,500円（4月集金）
	＊それぞれ指定する期日までに、保育所に納入してください。	

□8 給食の提供

給食の方針	給食は食育の一環と位置付け、乳幼児期から正しい食事のとり方や望ましい食習慣の定着、及び、食を通じた人間性の形成、家族関係づくりによる心身の健全育成を図るため、発育・発達過程に応じた取り組みを進めます。	
昼食・おやつ	3歳未満児	昼食、午前・午後のおやつ
	3歳以上児	昼食、午後のおやつ
	土曜日の対応	昼食、おやつ *簡易給食
	献立表・食育だより	毎月、月末に翌月分を配付します。
アレルギー児等への対応	食物アレルギーの除去については、主治医診断書に基づき実施します。 ※対応が著しく困難な場合は、給食の提供ができないことがあります。	
衛生管理等	<ul style="list-style-type: none"> 調理および給食に携わる全職員が毎月検便を行っています。 水質検査を週1回実施しています。(月曜日) 	

※給食の詳細はP8・P9を参照

□9 保育目標

クラス	目 標
0歳児	・生理的、心理的欲求を満たし、心地よく生活をする。
1歳児	・保育士等に見守られながら安心して行動範囲を広げ、探索活動を盛んにする。
2歳児	・興味のあることや経験したことなどを生活や遊びの中で、保育士等と一緒に表現しようとする。
3歳児	・保育士等や友達との関わりを楽しみ、自分の思いを言葉や行動で表現する。
4歳児	・積極的にいろいろな活動に取り組み、日常生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
5歳児	・集団生活の中で自立的、意欲的に活動し、体験を積み重ね、自主性と協調性を身に付ける。



□10 年間行事予定

4月	・入所式
5月	・保育参観（保護者会総会） ・いちご狩り（ぞう組） ・個人面談
6月	・プール開き ・引き渡し訓練
7月	・七夕会 ・沢遊び（三滝堂・ぞう組） ・早朝作業
8月	・プールおわりの会
10月	・運動会 ・交通安全教室 ・りんご狩り（ぞう組・うさぎ組） ・総合避難訓練
11月	・焼き芋会
12月	・おゆうぎ会
1月	・伝承遊びの会（新田長生会との交流） ・保育参観
2月	・豆まき会 ・一日入所
3月	・ひなまつり誕生会 ・お別れ会 ・おわりの式
月毎	<div>・身体計測 ・避難訓練 ・誕生会</div> <div>その他</div> <div>・ALT との交流会 ・クッキング（ぞう組）</div>

□11 健康診断等

健康診断	年2回、嘱託医による健診を行います。 ・内科検診（5月・10月） ・歯科検診（5月・10月） ＊結果については、結果報告用紙でお知らせします。
身体計測	毎月1回、身長・体重の計測を行います。 ＊結果については、連絡帳等に記載してお知らせします。
その他	尿検査（年2回）

□12 毎日の保育の流れ

時 間	未満児（0～2歳児）保育内容	以上児（3～5歳児）保育内容
7:30	保育標準時間（11時間）利用児登所	
8:00	保育短時間（8時間）利用児登所	
9:00	（健康観察・好きな遊び）	
11:00	お や つ	各クラスの計画に沿った保育
	各クラスの計画に沿った保育	
	おむつ交換・排せつ	
12:00	給食	給食準備
	おむつ交換・排せつ	給食
	午睡	午睡準備
15:00	起床・おむつ交換・排せつ	起床
16:00	おやつ	おやつ
↓		保育短時間（8時間）利用児降所
18:30		

□13 利用施設と保護者の連絡

- (1) 児童の保育中の状況や家庭での状況を相互連絡し合うために、リズム表や連絡帳を活用します。
- ・リズム表（0・1歳児）：体温、食事、排便や児童の様子をできるだけ詳細に記入します。
 - ・連絡帳（2～5歳児）：体調や遊び等児童の様子などお知らせしたいことを記入します。
- (2) 保育所だよりやクラスだより、ホワイトボード等で、連絡事項や保育の様子等をお知らせします。

□14 入所時に必要な書類・保護者が用意するもの

- 入所時に必要な書類：児童生活調査票
（家族状況・連絡先・病歴・予防接種記録・アレルギー等を記入）
：食事調査票
- 保護者が用意するもの：着替え・寝具・おしぼり・おむつ等

※持ち物の詳細についてはP10・P11を参照

□15 利用の終了に関する事項

右記の場合は、保育の提供を終了します。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の保護者が、児童福祉法または子ども・子育て支援法に定める保育を必要とする事由に該当しなくなったとき ・その他、利用の継続について重大な支障または困難が生じたとき
---------------------	--

□16 利用に際し留意していただきたいこと

毎朝の体調の確認	<ul style="list-style-type: none"> 登所前に必ず体温や健康状態等の確認を行ってください。（顔色・食欲・機嫌等） <u>熱が37.5℃以上の場合、咳がひどい場合等は、登所を控えてください。</u> 便を観察し、気になる時はお知らせください。また、毎日家庭で済ませるよう習慣付けましょう。
保育所で発熱等があった場合	<u>発熱（37.5℃以上）した場合は、降所お願いの連絡をします。ご了承ください。</u> （下痢・嘔吐・歯痛・食欲不振・微熱でも熱性けいれんを起こしやすい等で、体調が明らかに悪い場合も連絡します。）
感染症にかかったら	麻疹・百日咳・水痘・流行性耳下腺炎・インフルエンザ等の感染症にかかった場合、医師の診断を受け登所停止期間を経過してから登所させてください。完治し登所の際は、 <u>※登所届（保護者記入）</u> を提出してください。 <div style="text-align: right;">※P12（資料1）を参照</div>
投薬について	医療行為に当たる為、原則行えません。ただし、医師の処方を受け、保育中の投薬が必要な場合に限り医師の指示に基づき対応します。その際、 <u>※与薬依頼票と薬剤情報提供書</u> を提出していただき、 <u>昼 1 回分のみ</u> に対応します。 <div style="text-align: right;">※P13・14(資料2・資料3)を参照</div>
欠席・登降所時間等の連絡について	登所時間は、午前9時までです。 <u>欠席する場合：電話又はおがスマで午前9時までに連絡してください。</u> <u>遅れて登所する場合：午前9時までに電話連絡をしてください。</u> <u>（アレルギー・離乳食児は午前8時半まで）</u> 迎えの時間や送迎者が変わる場合は早めに、必ず連絡をください。 なお、 <u>11 時まで登所出来ない場合は、電話連絡をして昼食を食べて登所してください。</u>
予防接種について	接種後は、ご家庭で安静にし様子を見ていただくようご協力をお願いします。
緊急連絡先の登録について	○電話番号：保護者等3か所（連絡が取りやすい順・登録は必須） ○メールアドレス：保育所メール受信先5つまで（任意ですが、登録をお勧めします。） ＊途中で変更した場合は速やかにお知らせください。
登所・降所について	<ul style="list-style-type: none"> 安全確認のため、<u>登降所は事務室前のタブレットで打刻</u>をお願いします。 事故防止のため、<u>門扉の開閉は必ず大人の方が</u>行い、必ず閉めてください。 感染症対策のため、手指消毒、マスクの着用のご協力をお願いします。 パンやお菓子など、食べながらの登所はさせないでください。 保育に関係のない物、玩具等は持ってこないでください。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 持病がある、脱臼しやすい、薬品にまけ易い等がありましたら、家庭での応急手当の方法と合わせてお知らせください。 集団生活の為、子ども同士の関わりや成長の過程で、すり傷等の軽度なけがをすることがあります。ご理解いただくようお願いします。 衣服・皮膚・頭髮・爪等は常に清潔にしてください。 登所時には名札をつけてください。 <u>運動靴を履いて登所させてください。（サンダル型は危険が伴います。）</u> 駐車の際には、盗難防止の為、貴重品を車内に置かず必ず鍵をかけてください。 <u>住所・就労先（時間含）・健康保険証・電話番号・家族構成等に変更が生じた場合は、速やかにお知らせください。（子育て支援課にも、必ず連絡をしてください。）</u>

□17 緊急時の対応

- (1) 保育中にけがや容体の急変などがあった場合は、あらかじめ保護者が指定した緊急連絡先順に連絡をし、主治医あるいは嘱託医への連絡を取るなど必要な措置を講じます。
- (2) 保護者や緊急連絡先との連絡が取れない場合は、児童の身体の安全を優先させ、当施設が責任をもってしかるべき対応を行いますので、あらかじめご了承ください。

嘱託医	園医名 八木小児科医院 八木 恒夫 所在地 登米市迫町佐沼字西佐沼 125 番地 電話 0220-22-2566
嘱託医	園医名 まつお歯科医院 松尾 雅敦 所在地 登米市迫町新田山田 17 番地 7 電話 0220-28-2311
救急隊	管轄消防署名 登米市消防署 西出張所 所在地 登米市南方町堤田 38 番地 119 番通報 電話 0220-58-2119
警察署	管轄警察署名 佐沼警察署 新田駐在所 所在地 登米市迫町新田字狼ノ欠 31 番地-14 110 番通報 電話 0220-28-2049

□18 非常災害時の対応

- 震度5弱以上の大規模地震が発生した場合、保護者のお迎えをお願いします。（登米市保育所統一基準）
- 子どもの安全に関わる緊急事態が生じた場合の情報伝達をする『保育所メール配信システム』を取り入れており、保護者に一斉メール配信で知らせます。（入所式後のアドレス登録をお願いします。）
- 火災及び地震を想定した避難訓練を毎月実施します。
- *第1 避難場所：保育所 駐車場 *第2 避難場所：特別養護老人ホームせくれ付近

□19 児童の環境を守るための対応

家庭内において、DV や虐待などの恐れがあると感じられた際は、当施設から市や県の関係機関へ通報することがありますので、あらかじめご了承ください。

□20 保育内容に関する相談・苦情

施設利用における苦情・ご意見・ご要望については、苦情受付担当者の主任等、または、第三者委員までお申し込みください。詳細は、玄関内に掲示している「苦情解決制度について」をご覧ください。

□21 賠償責任保険の加入

登米市では、施設の管理下の事由による負傷・疾病などの災害に対処するため、独立行政法人日本スポーツ振興センターが運営する「災害救済給付制度」に加入しています。

- ・初診から治癒までの医療費総額が500点（5,000 円）以上の場合に対象となります。
- ・給付金額は、医療費総額の3割（自己負担分）に付加支給分の1割を加えた金額となります。
- ただし、乳幼児医療費助成該当分は対象外のため、医療費受給者は1割のみの給付となります。
- ・その他の見舞い給付金等もあります。

□22 個人情報の取り扱い

保育を提供する上で知り得た児童、保護者及び家族の情報を秘密として扱い、次の目的の場合を除き同意なく第三者への提供はいたしません。

- ・児童保育、健康・安全管理 ・法令に基づく要請 ・保育提供について他の期間との連携
- ・個人を特定しない統計データ活用 ・未納額の請求、徴収

□23 重要事項に対する同意

本書の内容及び個別の施設利用内容に対して同意をいただくことで、当施設を利用していただけます。

公立保育所(園)・こども園の食事について

1 食育目標

- ①「はやね・はやおき・あさごはん」を推進し、よい食習慣と健康な体をつくる
- ②栽培、収穫、料理等の体験や給食を通じて「食」への関心を高める
- ③地域の食材や地域に根ざした料理を取り入れ、食文化にふれる
- ④「食」に対する感謝の気持ちを育て、豊かな心を育む




2 給食の配慮点

- ① ごはん食(日本型の食事)を中心として、四季折々の野菜・果物を使用し、行事食を取り入れます。
- ② 食文化の一つである天然だしを使用し、素材の持ち味を生かした「薄味」とします。(味噌汁は0.4～0.5%塩分)
- ③ 不足しがちな魚、大豆製品、野菜、海藻等、また地元の特産物や昔から伝わる家庭料理を積極的に取り入れます。
- ④ 給食や食に関する様々な体験を通して食べることの大切さや楽しさを感じられるよう配慮します。
- ⑤ 児童の年齢や個人差に応じて計画的・段階的に子どもたちにはたらきかけを行います。



3 給食の提供内容

区 分		午前のおやつ	昼 食	午後のおやつ
離乳食	7～8か月頃	ミルク	離乳食+ミルク	ミルク
	9～11か月頃	有		有
	12か月頃（誕生月の翌月まで）			
3歳未満児		有	 完全給食 （主食・おかず・汁物）	有
3歳以上児		無		

* 主食は白ご飯ですが月に2回程度は麦ごはんになります。

* 土曜日も給食を提供しますが簡易なものとなります。



(1) 3歳以上児の箸の持参

箸は木製か竹製のものが使いやすく、箸先に滑り止めがついているものがよいでしょう。
箸ケースにに入れて持参してください。

(2) 誕生会 第3木曜日 行事食です。都合により誕生会の日程が変更になることがあります。

(3) 11時以降の登所の場合 食中毒予防と配膳の都合上、昼食を済ませて登所願います。

お願い

- 毎月、献立表と食育だよりを発行しますので目を通していただきますようお願いします。
- 朝食は子どもの成長と活動に不可欠です。必ず朝食をとって登所するようお願いします。

食物アレルギーで給食に除去が必要な場合

基本的に一年に一度、医師の記入したアレルギー疾患生活管理指導表と除去食の依頼書等を提出していただき対応します。(用紙は施設にあります)ただし、お子さんの安全を確保するため、除去の内容によっては弁当持参となる場合があります。弁当持参の場合、保育料・副食費は減額になりませんので予めご了承ください。

公立保育所(園)・こども園の離乳食について

生後5～6か月から、ご家庭で離乳食を開始していただくことが第一となります。

お子さんの唇や舌の動きを見ながら、「カミカミしようね」などと声をかけながら、楽しい雰囲気で行われるように心がけましょう。

「授乳・離乳の支援ガイド(厚労省)2019年3月改訂」をもとに、個人の状況を踏まえて、保護者の皆様と相談しながら離乳食を提供します。

アレルギー予防の観点から、給食で初めて食べる食材がないようご家庭で月齢に合わせて与えておいてください。

【離乳食の流れ(目安)】※授乳・離乳の支援ガイドより

	午前のおやつ	昼 食		午後のおやつ
		内 容	形 状	
7～8 か月頃	ミルク	離乳食 +ミルク	舌でつぶせる固さ (豆腐状)	ミルク
9～11 か月頃	果物 赤ちゃんせんべい等		歯ぐきでつぶせる固さ (バナナ状)	果物 赤ちゃんせんべい等
12 か月頃	果物 赤ちゃんせんべい等 プレーンヨーグルト		歯ぐきで噛める固さ (肉だんご状)	果物 赤ちゃんせんべい等 プレーンヨーグルト

■ 離乳食の開始

基本的には生後7か月(2回食移行期)から開始し13か月目までを離乳食とします。

例)4月生まれのお子さんの場合は、5月いっぱい離乳食となり、6月から幼児食に移行します。

■ 離乳食の形状

「離乳・授乳の支援ガイド」の目安をもとに、個人の発育・発達や食べ方を考慮し、形状を調整し提供します。

■ 離乳食の味つけ

それぞれの食品のもつ味を生かしながら、うす味で提供します。

■ 天然のだし

煮干し、削り節、こんぶ等でとった出汁を使用しています。

■ それぞれの味を感じられるような配慮

基本的に主食、主菜、副菜、汁物のそれぞれの持ち味を味わえるようにします。

■ 離乳期のおやつ

公立保育所(園)・こども園では9か月からおやつを提供します。本来1歳くらいまでは、離乳食と授乳で十分な栄養がとれるため、おやつは必要ないとされていますが、食べる楽しみを味わってもらうため少量を提供します。

12か月からは幼児食への移行準備としておやつに「プレーンヨーグルト」も提供します。

ご家庭であらかじめ食べさせてアレルギー等の確認をしてください。

■ 牛乳への移行

フォローアップミルクは母乳ではなく、牛乳の代替品(同じような成分)であるため、施設では1歳まで育児用粉ミルクでの対応となります。1歳のお誕生日を迎えたお子さんは、家庭で牛乳を少しずつ試していただき、異常がないことを確認したら、幼児食への移行とともに牛乳を提供します。



ご家庭へのお願い

- ★ 大人と同じような味付けは、お子さんの体に負担がかかります。薄味にご協力ください。
- ★ 離乳食は、いすに座って食べさせるようにしましょう。お子さんの唇や舌の動く様子がよく見えます。
- ★ 1歳のお誕生日までに起きる時間、寝る時間、3回の食事リズムを整えていきましょう。
- ★ **1歳のお誕生日を迎えたら、牛乳を少しずつ飲ませてみましょう。**
- ★ 子ども用のイオン飲料や100%果汁のジュースも糖分が含まれるため、ミルクや離乳食をとらない原因になることがあります。水分補給としてあげる時は湯ざましや麦茶がよいでしょう。
- ★ お子さんの体調の変化や食事で心配なことはクラス担任を通じてお気軽にご相談ください。

持ち物について

《 0・1歳児が用意する物 》

*午前と午後のおやつ、昼食時に、おしぼりとエプロン、コップを使用します。おしぼりと、エプロンは使用後におしぼりケースに入れておきます。おしぼりケースとコップは毎日持ち帰り、きれいに洗って乾かして、次の日に忘れずに持ってきてください。

着替え関係	○下着・上下服・靴下（3組程度）・・・服は上下別々のもの、毎日確認と補充 ○着替えかご（34cm×26cm×7cm～8cm）（2） ○エコバック（汚れ物入れ）
給食時に使うもの （毎日持参）	○おしぼり用タオル（3） ○おしぼりケース（1） ○食事用エプロン（ビニル製）（3） ○コップ（1） ○コップ袋（1）
午睡用寝具	○掛け布団と敷き布団（1）・・・取り外しのできるカバーを付ける
おむつ交換用	○紙おむつ（10枚程度）・・・1枚ずつ太マジックで名前を記入 ○おしり拭き（1ケース）・・・確認と補充 ○交換時敷きマット（1枚）・・・タオル地のバスマット、毎日持参
荷物入れ	○手提げバッグ・・・A4ファイルが入る大きさ

《 2歳児が用意する物 》

*午前と午後のおやつ、昼食時に、おしぼりとコップを使用します。おしぼりは、使用後におしぼりケースに入れておきます。おしぼりケースとコップは毎日持ち帰り、きれいに洗って乾かして、次の日に忘れずに持ってきてください。

着替え関係	○下着・上下服・靴下（3組程度）・・・服は上下別々のもの、毎日確認と補充 ○着替えかご（34cm×26cm×7cm～8cm）（2） ○エコバック（汚れ物入れ）
給食時に使うもの （毎日持参）	○おしぼり用タオル（3） ○おしぼりケース（1） ○コップ（1） ○コップ袋（1）
午睡用寝具	○掛け布団と敷き布団（1）・・・取り外しのできるカバーを付ける ○おねしょ用マット・・・心配な場合、カバーの内側に入れる
おむつ等	○紙おむつ（必要数）・・・1枚ずつ太マジックで名前を記入 ○おしり拭き（1ケース）・・・残りの確認と補充を ○布パンツ（必要数）・・・トイレトレーニング中のお子さん ○履き替え用敷きマット（1枚）・・・タオル地のバスマット、毎日持参
その他	○リュック型かばん・・・キーホルダー等は、つけないでください ○上靴（パレシューズ）・シューズ入れ・・・毎週末に持ち帰り洗濯

《 3歳以上児が用意する物 》

*昼食と午後のおやつ時に、おしぼりとコップを使用します。おしぼりは、使用後におしぼりケースに入れておきます。おしぼりケースとコップは毎日持ち帰り、きれいに洗って乾かして、次の日に忘れずに持ってきてください。

着替え関係	○下着・上下服・靴下（3組程度・着替え袋に入れる）・・・毎日確認と補充 ○汚れ物入れエコバック（1）
給食時に使うもの （毎日持参）	○おしぼり用タオル（2） ○おしぼりケース（1） ○箸と箸入れ（1）・・・箸は木製 ○コップ（1） ○コップ袋（1）
午睡用寝具	○掛け布団と敷き布団（1）・・・取り外しのできるカバーを付ける ○おねしょ用マット・・・心配な場合、カバーの内側に入れる
その他	○リュック型かばん・・・キーホルダー等は、つけないでください。 ○上靴（パレシューズ）・シューズ入れ・・・毎週末に持ち帰り洗濯

《 全員に持ってきて頂くもの 》

*クラスで使いますので、ご協力をお願いいたします。（記名無しで）
*クラスで使用し、無くなった場合ご協力をお願いすることがあります。

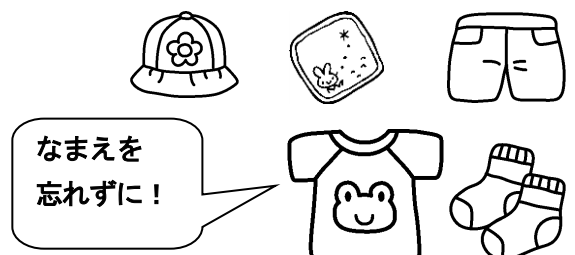
ぞうきん	3枚
フェイスタオル	2枚
ティッシュボックス	1組（5箱）
ビニール袋13号（200枚綴りの紐付き） サイズ：ヨコ260mm、タテ380mm	1袋
レジ袋Lサイズ（100枚綴りの紐付き） サイズ：長さ480mm、幅260mm、マチ幅140mm	1袋

《 お願い 》

* 全ての持ち物に名前を記入してください。

*衣服は、着脱しやすく動きやすいものをお願いします。

（上下繋がっている下着、フード付き、スカート、ヒモ付きは危険なこともあるため、着て来ないでください。）



*布団は毎週末に持ち帰り、日光消毒しカバーを洗濯して、休み明けに持ってきてください。



登所（園）届について

保育所・こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人一人の子どもが一日快適に生活できることが大切です。

入所児がよくかかる下記の感染症については、医師の診断に従い、登所（園）届の記入・提出をお願いします。
なお、集団生活に適応できる状態に回復してから登所（園）するよう、ご配慮ください。

○特に注意すべき感染症

麻しん	流行性角結膜炎
インフルエンザ	百日咳
風しん	急性出血性結膜炎
水痘（水ぼうそう）	侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	腸管出血性大腸菌感染症
結核	新型コロナウイルス感染症
咽頭結膜熱（プール熱）	

○注意すべき感染症

溶連菌感染症	ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス ロタウイルス アデノウイルス等）
ヘルパンギーナ	RSウイルス感染症
マイコプラズマ肺炎	帯状疱疹
手足口病	突発性発疹
伝染性紅斑（りんご病）	

「保育所における感染症対策ガイドライン（2018 年改訂版）こども家庭庁 2018（平成 30）年 3 月（2023（令和 5）年 5 月一部改訂（2023（令和 5）年 10 月一部修正）」より

きりとりせん

登所（園）届（保護者記入）

所（園）長 あて

組 児童名

令和 年 月 日 病名「 」と診断され、
医療機関名「 」において、令和 年 月 日
病状が回復し集団生活に支障がない状態と判断されたので登所（園）いたします。

令和 年 月 日

保護者氏名

登米市公立保育所（園）・こども園

保育所（園）・こども園でのくすりの取り扱いについて

1. お子さんのくすりは、本来は保護者が登所（園）して与えていただくのですが、緊急やむをえない理由で保護者が登所（園）できないときは、保護者と保育所（園）・こども園で話し合いのうえ、担当者が保護者に代わって与えます。この場合は、万全を期するため「与薬依頼票」に必要事項を記載していただき、くすりに添付して保育士に手渡していただきます。なお、「与薬依頼票」は保育所（園）・こども園に保管しますので必ず使用後は戻して下さい。
2. くすりは、お子さんを診察した医師が処方し調剤したもの、あるいはその医師の処方によって薬局で調剤したものに限ります。
3. 保護者の個人的な判断で持参したくすりは、保育所（園）・こども園としては対応できません。
4. 座薬・解熱剤・鎮痛剤の使用は、原則として行いません。
5. 慢性の病気（気管支喘息・てんかん・糖尿病・アトピー性皮膚炎などのように経過が長引くような病気）の日常における投薬や処置については、国の保育所保育指針によって、子どもの主治医または嘱託医の指示書に従うとともに、相互の連携が必要です。
6. 持参するくすりについて
 - ① 医師が処方したくすりには必ず、「与薬依頼票」・「薬剤情報提供書」（処方箋）を添付して下さい。
 - ② 使用するくすりは1回分ずつに分けて、当日分のみご用意下さい。
*アレルギーの緊急対応のくすりの依頼については保育所（園）・こども園にご確認ください。
 - ③ 袋や容器にお子さんの名前を記載して下さい。
7. 主治医の診察を受けるときは、お子さんが現在〇〇時から〇〇時まで保育所（園）・こども園に在園していることと、施設では、原則としてくすりの使用ができないことをお伝え下さい。

与薬依頼票(保護者記載用)

*くすりは必ず保育士に手渡し、受け取った際に確認させていただきます。

*1回分のくすりを容器に入れ、名前も記入ください。

*薬剤情報提供書(処方箋)も添付してください。(処方期間が過ぎた薬は与薬できません)

*この与薬依頼票は、保育所(園)・こども園に保管しますので使用後は戻してください。

*ボールペンでの記入をお願いします。

*この用紙はコピーしないで保育所(園)に申し出てください。

依頼日	令和 年 月 日 ()	依頼先	登米市 保育所(園)
依頼者	()組 園児氏名 (男・女) 保護者氏名		
病院名	病院・医院		
病名(症状)			
投与期間 (医師の指示する期間)	飲み始め 令和 年 月 日(朝・昼・夕) ～ 飲み終わり 令和 年 月 日(朝・昼・夕)		
投与時間	昼食前・昼食後・その他()		
保管	室温・冷蔵庫・その他()		
剤型・数量	粉(包) ・ 液(シロップ) ・ 錠剤(粒) ・ 外用薬(ぬり薬・目薬)・		
くすりの内容	抗生物質 ・ 咳止め ・ 整腸剤 ・ かぜ薬 ・ 外用薬() ・ その他()		
投 薬 方 法	そのまま飲む ・ 水に溶く ・ その他()		

	(家庭)	(保育所・園)			(家庭)
	依頼者	受取者サイン	投与時刻	投与者サイン	保護者確認サイン
月 日()			:		
月 日()			:		
月 日()			:		
月 日()			:		
月 日()			:		
月 日()			:		